

平成 22 年度 河川水質事故概要

発生月日	発生場所			事故区分			措置機関名	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	水域名	派川名	場所等	魚死亡	油浮遊	その他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
5 / 25	境川	境川	風戸橋上流			○	①神奈川県、相模原市、 町田市 ②神奈川県 ③神奈川県	判明	<p>城山まちづくりセンター経由で市民から、境川（広田小学校の北側）で白濁水が流れている旨の連絡を受け調査を行った。</p> <p>調査の結果、風戸橋上流で町田市民が白色塗料を投棄したものと判明。生物への影響が見られないため、流出防止の応急措置をし、本市の調査を終了した。恒久対策の実施については、河川管理者である神奈川県が実施することとした。</p>	不法投棄として措置 (神奈川県警)
5 / 31	相模川	串川	緑区鳥屋 1280 付近			○	①相模原市 ②なし ③なし	不明	<p>串川（支流）に白濁水が流れている旨の連絡を受け調査を行った。</p> <p>調査の結果、谷戸橋から本線合流地点にかけて、河川脇に白濁した形跡が見られたが、川底はしっかり視認でき、pHも 7.85 と問題ない水質であった。上流を調査したが原因は不明であった。臭気はなく、魚類の浮上も無かったため、調査を終了した。</p>	
8 / 13	境川	境川	新中里橋下 流			○	①相模原市 ②相模原市 ③なし	不明	<p>市民から、境川（新中里橋）で薄い油膜が見える旨の連絡を受け調査を行った。</p> <p>調査の結果、新中里橋下流右岸の排出口から油が流出していることを確認。発生源調査として、上流地域及び雨水管を調査するも、発生源は不明であった。魚への影響は無く、オイルフェンス等を設置し、油を回収して調査を終了した。</p>	

8 / 24	相模川	阿津川	緑区若柳			○	①相模原市 ②事業者 ③相模原市	判明	阿津川に白濁が見られるとの連絡を受け調査を行った。 その結果、娯楽施設内の温泉掘削工事で発生した泥水が原因と判明。掘削した井戸内を洗浄した水をタンクに集めその水を当該敷地内に撒いたものが、水路から流出したことによるものであった。魚類の死亡等は見られなかった。	敷地内の泥を撤去し、濁水を流さないよう指示。
9 / 16	相模川	阿津川	緑区若柳			○	①相模原市 ②事業者 ③相模原市 (改善勧告を実施)	判明	阿津川に白濁が見られるとの連絡を受け調査を行った。 その結果、娯楽施設内の温泉掘削工事で発生した井戸の洗浄水が原因と推定された。魚類の死亡等は見られなかった	温泉掘削から発生する洗浄水を河川放流しないこと。
9 / 27	相模川	鳩川	久保橋			○	①相模原市 ②相模原市・事業者 ③相模原市	判明	市民から、鳩川（鳩川新橋）で油膜が見える旨の連絡を受け調査を行った。 調査の結果、久保橋右岸排出口から油の流出が認められ、発生源は田名の再生資源卸売業者であった。魚への影響は無く、オイルフェンス等を設置し、油を回収して調査を終了した。	事業所付近の油の回収を指示。
2 / 17	相模川	山沢川	山沢橋上流			○	①相模原市 ②事業者 ③相模原市	判明	市民から、山沢川（山沢橋）で上流から灰色濁水が流れてくるとの連絡を受け、現地調査を行った。 現地調査の結果、上流の破石業者から雪解け水とともに泥水の流出が認められた。 魚等への影響は見られなかった。	灰濁水の敷地外への流出防止措置を講ずるよう指示。
2 / 21	相模川	阿津川	阿津川橋			○	①相模原市 ②なし ③なし	不明	市民から、阿津川に白濁水が見られるとの連絡を受け、現地調査を行った。 現地調査の結果、阿津川橋付近に白濁の溜まりを確認したが、新たな流出	

									はなく、発生源は不明であった。 p Hに異常はなく、魚等への影響も見られなかった。	
3 / 5	相模川	阿津川	新丹保橋			○	①相模原市 ②なし ③なし	不明	相模湖経済観光課経由で市民から、阿津川で発泡が見られるとの連絡を受け、現地調査を行った。 現地調査の結果、新丹保橋付近で発泡及び白濁、正覚寺橋及び山口橋で若干の発泡が確認されたが、新たな流出はなく、発生源は不明であった。 魚等への影響は見られなかった。	
3 / 27 、28	相模川	鳩川	西内出橋	○			①相模原市 ②相模原市 ③相模原市	判明	市民から、鳩川（九沢橋付近）で魚が死んでいるとの連絡を受け、現地調査を行った。 現地調査の結果、河川水から焦げ臭がし、前日に上流の再生資源卸売業者の火災消化のための放水によるものと推定された。 新たな流出等はみられず、死魚を回収した。	敷地外への新たな流出の防止を指示。